



# 補習校だより

平成28年度 第41号

平成29年3月11日発行

マイアミ補習校

校長 實藤 哲夫

事務（携帯） 305-505-6493

校長（携帯） 917-521-5768

ホームページ miamihoshuko.org

E-mail miamihoshuko@hotmail.co.jp

## 3月の生活目標

生徒会で決まった今月の生活目標は

【補習校のルールを見直して、守るようにしよう。

例・日本語を使う。・国語では鉛筆を使う。・遅刻をしない。】

です。あれっ、先月と同じでは？と訝る方もいらっしゃると思いますが、その通りです。先月から引き続きこの目標でいくことになりました。特に先月末からは、

例・借りたものはきちんと返そう。

という【例】が付け加わっています。先月の“補習校だより#39”でもお知らせしたように、借りたボールを返さなかったことがあったため、生活目標として生徒会から呼びかけています。

今年度は、せっかく決めた毎月の“生活目標”を、全員が「自分の問題として捉え、実践できるようになるか」を子ども達と一緒に考えてきました。しかし、まだできていません。子ども達の自主性を育てるための組織です。新しい生徒会役員とともに、この問題に取り組んでいこうと考えています。

## 読書大賞発表！

先週の全校朝会では、この一年間でたくさんの本を読んだ子ども達を讃える“読書大賞”の表彰をしました。

昨年度の結果と比べると、受賞者の読書量が大幅に増えていきます。特に高学年の子ども達がたくさんの本を読んでいます。1万ページ以上を読破した子どもが5名もいましたし、中には2万ページを越えて3万ページに近づきそうな子どももいます。

日本語に慣れたり、語彙を増やしたりするのに効果が高いのは、読書をすることであることは言うまでもありません。できるだけたくさん本に触れ、日本語に慣れ親しむ子ども達が増えるようにと、PTAの皆さんが図書室を運営し、蔵書を増やす努力をされています。

ネット上には写真や映像が溢れ、挑発的な言葉や嘘混じりの言葉に翻弄される現代では、落ち着いて一つ一つの言葉を吟味し、理解し、自分の考えをつくる糧になる書物に幼い頃から親しむことも大切です。来年度も更に読書好きの子どもが増えますように！



【読書大賞の表彰…全校朝会】



【廊下に多読賞の発表も！】